
6章 事例編

6.1 とっとりらしい緑をつくる技術

6.1.1 鳥取の多様な自然と地域の植物を活かした緑化
(鳥取流緑化・ナチュラルガーデン)

6.1.2 鳥取の芝生生産と低コスト芝生化技術
(「鳥取芝」・「鳥取方式」による芝生化)

6.2 とっとりの先進的な緑化・管理事例

6.2.1 【公園・樹木】東郷湖羽合臨海公園

6.2.2 【道路・樹木】国道431号けやき通り

6.2.3 【道路・草地】大山観光道路

6.2.4 【海岸・樹木】弓ヶ浜海岸

6.2.5 【その他・樹木】鳥取駅前広場・とりぎん文化会館

6.2.6 【民有地・企業】サントリー大山ブナの森工場

6.2.7 【民有地・住宅】津ノ井ニュータウン

6.3 とっとりの伝統的な緑化技術

第 6 章では、鳥取県独自の緑化技術と県内の先進的な緑化事例、伝統的な緑化事例について示す。

6-1 章では、「とっとりらしいみどりをつくる技術」として、県が推進する「地域自生種を活用した緑化手法（鳥取流緑化・ナチュラルガーデン）」および「県算芝と鳥取方式による芝生化」について、技術概要と県内施工事例を挙げた。

6-2 章では、県内の代表的な緑化・管理事例より、今後の取り組みの参考となる先進的なものを示した。

6-3 章では、今後保全・継承していくべき県内の伝統的な緑化技術・事例を挙げた。

6-1 とっとりらしい緑をつくる技術

6-1-1 鳥取の多様な自然と地域の植物を活かした緑化（鳥取流緑化・ナチュラルガーデン）

鳥取県では、特色ある風土と豊かな自然を活かした鳥取流緑化スタイルとして、地域の植物を用いた緑化手法（以下、「ナチュラルガーデン」）の普及・推進に取り組んでいる。地域の自然素材を活かした鳥取らしい景観を、県民・市民が自らの手で創出できる手法である。

1) 概要

とっとりの植物を活かした緑化（ナチュラルガーデン）とは？

植物が本来持っている自然の力を活かす手法である

多年草を中心に、鳥取の地域に自生する多種類の草本・木本を中心に組み合わせ、気候や日当たりなどの環境にあわせて、生育条件にあった植物を自然風な雰囲気植えしていく。四季折々の美しさが、必要最低限の手入れで楽しめる。



ナチュラルガーデン整備事例

表 6-1 ナチュラルガーデンと従来緑化手法

	従来緑化	ナチュラルガーデン	生物多様性緑化
理念	華やかな美しさ	自然な美しさ	動植物の多様性 自然な美しさ
材料	一年草、ツツジ類等 少種類の樹木 園芸種・外来種中心	多年草 多種類の樹木 在来種＋園芸種＋外来種	多年草 多種類の樹木 在来種のみ
植栽	人工的な組合せ	環境にあった適地的植物	植生の再現 植生の要素の植栽
管理	植替え、刈込み、 施肥、消毒	適度の剪定・間引き 無施肥、無消毒	適度の剪定・間引き 無施肥、無消毒

出典：ナチュラルガーデンマイスター養成講座資料（鳥取大学日置教授）

2) 特徴

本手法を実施するうえでの基本的なポイントは表 6-2 の 4 点である。また、環境の異なる以下の 4 つのタイプについて、植栽例（推奨種と配置例）を示した（表 6-3）。

表 6-2 ナチュラルガーデンのポイント

<p>植物の住環境を見極める</p> <p>植える場所をよく観察し、その環境に合う植物を選定。日照、土の乾湿、排水、風当り等をきちんと把握して植物を選択すれば、植物は自らの力でしっかり育つ。植物が自分の好む環境に生育していればストレスは少なく、病気になりにくく、害虫にも強くなる。</p>	<p>農薬・肥料は使わない</p> <p>農薬や肥料を使うと、植物は楽に成長するかわりに弱くなり、手間がかかる。与えるのではなく、自ら必要なものを探す。必要以上に大きく育たないかわりに、コンパクトにしっかり育ち、環境変化にも対応できる健康な株に育つ。</p>
<p>季節の変化を楽しむ</p> <p>花だけでなく、新芽、葉、実や紅葉など、年間を通じた植物の表情、香りなどが楽しめるよう植物を組合せる。多年草は毎年徐々に成長する様子が実感できる。また、虫や鳥など、そこに生育する生物にも配慮する。</p>	<p>とっとりらしさを大切にする</p> <p>とっとり地域に生育する植物は、長い年月をかけて、地域の環境に適合してきたものであり、厳しい環境にも耐える性質を有しているとともに、これらが作り出す景観は地域固有のものとなる。</p>

引用：ナチュラルガーデンをつくろう！ 地元の素材で美しい風景を 著者 ポール・スミザー

<環境の異なる以下の4つのタイプ>

- ①日向： 日当たりのよい土地。比較的栽培に手間がかからない点を考慮。
- ②日陰： 日照条件の良くない土地。日陰の程度（半日陰から完全な日陰）や土壌の乾湿の程度に幅広く対応できる点を考慮。
- ③浜辺： 風や日差しが強く、かつ乾燥する環境。砂質土壌。
- ④やせ地： 表土の薄い痩せた土壌の土地。

表 6-3 異なる環境タイプ別の植栽例 (1/2)

生育環境タイプと植栽例	推奨種
	<p>草本：オミナエシ、シラン、シオン、シマズスキ、リュウノギク、ユウスゲ、ファイリカリガネソウ、ヒヨドリバナ、チカラシバ、ホタルブクロ、ユキノシタ</p> <p>木本：シロバナハギ、コマツナギ、斑入りミズキ、デフリボク、シモツケ、</p>

引用：ナチュラルガーデンをつくろう！ 地元の素材で美しい風景を 著者 ポール・スミザー

表 6-3 異なる環境タイプ別の植栽例 (2/2)

生育環境タイプと植栽例	備考
<p style="text-align: right;">日陰の庭の植栽例</p>	<p>草本：シュウメイギク、オニヤブソテツ、ヤブラン、ベニシダ、ナキリスゲ、トキワイカリソウ、カレックス、ツワブキ、オオバギボウシ、ナルコユリ、アキカラマツ、オトコエシ、ヤマジノホトトギス、シヤガ、キチジョウソウ、フックソウ</p> <p>木本：ノリウツギ、ウラジロノキ、キブシ</p>
<p style="text-align: right;">浜辺の庭の植栽例</p>	<p>草本：イトススキ、ヒオウギ、イソギク、ハマアザミ、コウボウシバ、カワラナデシコ、ハマゼリ、ハマボウフウ、ハマエンドウ、イトススキ 'モーニングライト'</p> <p>木本：ネムノキ、トベラ、ハイネズ、ハマナス、アベリア</p>
<p style="text-align: right;">メドウガーデンの植栽例</p>	<p>草本：フジバカマ、ノアザミ、ウツボグサ、ヒガンバナ、コオニユリ、ヤブカンゾウ、キキョウ、ノハナショウブ、ノコンギク</p>

引用：ナチュラルガーデンをつくろう！ 地元の素材で美しい風景を 著者 ポール・スミザー

3) 取り組み事例

県内における代表的なナチュラルガーデンの取り組み事例を示す。

事例①	湖山池公園ナチュラルガーデン（鳥取流緑化の先駆例）：平成 25 年
【箇所】鳥取市湖山町南 3 丁目（湖山池南地区：湖山池東側）	
【概要】湖山池公園のお花畑ゾーン（愛称：湖山池オアシスパーク）にあるナチュラルガーデン「とっとり晴れやか庭園」。「第 30 回全国都市緑化とっとりフェア」においてポール・スミザー氏監修のコンセプトガーデンとして整備された。鳥取産の野草が 90%以上である自然風緑化の先駆け。	
	
<p style="text-align: center;">浜辺の自生種を中心とした植栽（平成 28 年 6 月下旬）</p>	
	
<p style="text-align: center;">自生種の中低木に囲まれたベンチ・散策路と石垣積み（平成 28 年 6 月下旬）</p>	
	
<p style="text-align: center;">メドウガーデンエリアとミニガーデンエリア（平成 28 年 6 月下旬）</p>	
参考	【導入種】資料編

事例②	布勢総合運動公園ナチュラルガーデン（公園植栽の改善事例）：平成 26 年
-----	--------------------------------------

【箇所】布勢総合運動公園 北側

【概要】ガーデンデザイナーのポール・スミザー氏の設計・監修したナチュラルガーデン。成長して薄暗くなった林の常緑樹を整理し、明るい林床に日陰が好きな多年草を中心に植栽した公園植栽改善事例。春には、スイセン、ムスカリなど約1万球の球根が華やかな春の季節を告げる。



散策路沿いの低木植栽を草本植栽に転換（平成 28 年 6 月下旬）



高密度の樹木を間伐して明るい林床環境に改善（平成 28 年 6 月下旬）



四阿周辺は四季の草花を配植して景観に配慮（平成 28 年 6 月下旬）

参考	【導入種】資料編
----	----------

事例③	鳥取空港布施線道路緑地帯（メドウガーデン モデル施工）：平成 27 年
【箇所】 県道空港布勢線（鳥取市湖山町北一丁目）緑地帯	
【概要】 湖山池公園で開催された「全国都市緑化とっとりフェア」を契機に、鳥取県の自然を活かした緑化の推進を目的に、新しい公共緑地の実証モデルとして取り組まれた事例。鳥取大学と連携し、多様な地域在来種を使った緑化手法として調査研究を実施。	
	
施工箇所全景（初夏期：平成 28 年 6 月下旬）	施工箇所全景（冬期：平成 27 年 12 月）
	
生育状況（初夏期：平成 28 年 6 月下旬）	
	
施工前（平成 26 年 11 月）	施工後（平成 27 年 4 月）
参考	【整備概要】資料編

事例④	鳥取駅前ナチュラルガーデン（地域玄関口の緑化）：平成 24 年（北口）、同 27 年（南口）
【箇所】鳥取駅北口（風紋広場）及び南口ロータリー	
【概要】北口風紋広場には、都市緑化フェアとっとり 1 年前イベントで整備され、南口緑地帯は駅周辺再生計画に基づき、都市緑化フェア開催後に移植・整備。	
	
北口・風紋広場（平成 28 年 8 月）	南口・ロータリー（平成 27 年 12 月）
参考	【導入種】資料編

事例⑤	鳥取空港ナチュラルガーデン（地域玄関口の緑化）：平成 25 年
【箇所】鳥取空港ターミナル正面玄関前	
【概要】鳥取流緑化スタイル展開事業として、緑化フェア開催にあわせて整備。	
	
空港ターミナル正面玄関前	近景
参考	—

事例⑥	鳥取大学ナチュラルガーデン（公共施設の緑化、普及促進）：平成 25 年
【箇所】鳥取大学構内 農学部及び事務局前	
【概要】学生実習で作庭されたもの。農学部前及び事務局前の一部は都市緑化フェア出展作品。	
	
農学部前庭（山陰海岸浜辺の原風景）	事務局前庭（因伯の里庭）
	出典：鳥取大学おさんぽ地図
参考	【導入種】資料編

事例⑦ まちなかミニナチュラルガーデン（市民活動による取り組み）

【箇所】布施総合公園北側（布施交差点）

【概要】市民活動によるナチュラルガーデン整備事例。多くの人々の目にとまるまちなかのスポットとして道路沿道等の公共空間の修景緑化。鳥取市では平成24年度より、全国都市緑化フェアの開催に併せて、市内の都市公園や公共空地に「まちなかスポット」としてミニナチュラルガーデンを設置しており、緑化フェア終了後も引き続き設置。草花などは鳥取市からの補助、植え付けや維持管理などを（公財）鳥取市公園・スポーツ施設協会が指導。



交差点付近緑地帯（平成28年8月）



住民による植栽・管理（平成28年8月）



深澤公園（平成25年8月）



浜村砂丘公園（平成25年7月）

ミニナチュラルガーデンマップ

1 深澤公園
2 布施総合公園北側
3 立川色丁公共空地
4 養老公共空地
5 湖山南2丁目公共空地
6 大寺前1号公園
7 西が町交差点（カルチャーセンター）
8 養老1丁目公共空地
9 井部公園
10 浜村砂丘公園（ササホーロー）
11 南町公園
12 新築公園
13 養老野原公園
14 南城北公園
15 高松広場
16 養老公園
17 深澤公園
18 湖山南2丁目公共空地

出典：鳥取市ホームページ

参考 —

事例⑧	河川敷緑地整備（アダプト制度を活用した企業による取り組み）
【箇所】鳥取市戎町 旧袋川沿（若桜橋北交差点東 100 メートル（株）NKC 本社前）	
【概要】鳥取市アダプト制度の認定を受け、民間企業（株）NKC が景観工事で美化活動を行ったもの。平成 27 年 8 月に創立 50 周年記念事業の一環として、鳥取シティホテル前の袋川桜土手に 10 種類の草花を植栽。名称「NKC シェードガーデン」。	
	
実施箇所全景（旧袋川堤防）（平成 28 年 8 月）	シェードガーデンの看板（平成 28 年 8 月）
	
植栽種（マツバギク）（平成 28 年 8 月）	植栽種（斑入りヤブラン）（平成 28 年 8 月）
	
植栽種（斑入りヤブラン）（平成 28 年 8 月）	実施箇所状況（緑陰道）（平成 28 年 8 月）
参考	—